

山下先生、ペアレンツキャンプの皆様、こんにちは。
支援開始の日から一年が過ぎました。辛く苦しい
時期もありましたが、振り返るとあ、という問でした。

支援前の私はいつも息子に対して「なぜ？」がいらざ
いでした。

「なぜ、ちょっとしたことでかんしゃくをおこすのか？」

「なぜ、他の子ができることを息子はできないのか？」etc...

答えを見つける為、色々な育児本を読みました。

愛情不足だったのか... もっと甘えを受け入れてあげなけ
れば... 答えは分からぬまま自分なりに出来る事を
してきたつもりでしたが、結果は改善するどころか
子どもとの関係は悪化していきました。

そんな中、とうとう問題が表面化しました。小学一年
生 夏休み明けの二学期に息子が「学校へ行き
たくない!!」と言いはじめました。泣いて登校拒否
する息子を無理矢理 学校へ連れて行く日々が
はじまりました。小学校の先生方も大変協力的で
色々相談にのって頂きましたが、根本的な解決
が出来ぬまま 子も親も辛い日々を過ごして
いました。

母子登校で悩んでいた中、水野先生の著書と出会いました。何冊も育児の本は読んできましたが、今まで探していた答えがやっとみつかった気がしました。

早速、本を参考に我が家でも出来ることを実践しました。...が、「ここはどうすれば良いのだろうか?」「こんな時は?」など我が家のケースだとどのようにすれば良いのか...という悩みがでてきました。主人と話し合い、ペアレンツキャンプで支援をお願いしてみようということになりました。

初回の電話カウンセリングは緊張や不安で胸が苦しかったのですが、いざ電話で山下先生に話を聞いて頂くと辛く苦しい胸の痛みが和らいて、最後には前向きな気持ちになっていました。この気持ちは初回のみではなく毎週水曜日の電話カウンセリングの度、山下先生には家庭教育の面はもちろん気持ちの面でもサポートして頂きました。

電話カウンセリングの他、家庭ノートもとても欣赏到になりました。家庭ノートのおかげで客観的にみる事ができ、今までずっと悩んでいた問題点がみえてきました。

「学校へ行きたくない!!」このひと言は きっかけてあって根本的な問題は学校へ行けないことではないということを知りました。

過干渉、先回り、母子依存、子ども上位……と様々な問題がありましたか”ひとつずつ細かく丁寧に対応を教えてくださいました。

親が変わるとすぐに子どもにも良い変化がおこりました。まさに「子は親の金鏡」ということを身をもって感じました。

今、息子は小学二年生ですが その年なりの自立が出来ています。そんな子どもを信じ成長を見守れるようになった事が何よりも嬉しいです。

辛く苦しいと感じていた支援当初も、今となっては大きな財産です。

一年間、大変お世話になりました。

担当していただきました山下先生、そしてペアレンツキャンプの皆様 心より感謝しております。

ありがとうございました。

2014、10、15